

令和2年5月20日

横浜市立大正小学校

校長 山崎 浩一郎

令和2年度 大正小学校 学校経営方針及び学校教育の重点

<よこはまの教育が目指す人づくり>

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

新しい学校教育目標

やる気いっぱい えがおいっぱい大正小

大正小の児童に身に付けさせたい資質・能力

- 主体的に問題解決をする力
- 豊かな心
- 社会で生きる力

子どもにとって、希望、夢、期待のある学校（学校が楽しい、友達や先生と過ごす時間が楽しい、自分に活躍できる場がある、など）づくりを推進します。

学校教育目標を設定するにあたり、「コミュニケーション」「ともに」「かかわり」「伝え合う」などのキーワードと、「粘り強さ」「基本的なことを身に付けさせたい」ということを大切にしました。また、子どもにも分かりやすく、全ての思いを凝縮した言葉として、「やる気」「えがお」をキーワードとして、教育目標「やる気いっぱい えがおいっぱい 大正小」としました。

授業場面で、特別活動・学校行事などの生活場面で、主体的・対話的で深い学びを通して、「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」をこれからも育てていく必要があります。

笑顔であいさつをし、人に優しい学校の環境を整え、誰もが安心してえがおで安全に生活できる、いじめのない学校を、保護者や地域の協力もいただきながら、教職員が一丸となって作っていきます。

令和2年度は、創立104年目の年 ～平成から令和（新たな時代へ）～
昨年までの大正小の伝統を活かしつつ、新学習指導要領全面実施の年、学校教育目標の具現化とカリキュラム・マネジメントの推進を図っていきます。
学校へのご支援・ご協力をよろしく申し上げます。



<新しい学校教育目標を実現するための具体目標>

○進んで学習に取り組み、できる喜びを実感しながら、問題解決に向かって、粘り強く取り組む姿勢を育てます。(知)

- ・「大正一句」の取組を中心に全教育活動を通じて、「日本語教育」の充実に取り組み、思いや考えを正しく伝えあう力を育成します。
- ・朝読書、朝のスキルタイムを活用し、基礎・基本の充実を図ります。
- ・小中一貫カリキュラムをもとにした、授業改善に取り組み、子どもが進んで課題を見つけ、主体的にその解決に向かう姿勢を身に付け、学ぶ楽しさ、できる喜びが実感できるようにします。
- ・重点研究教科として、新たに算数科を取り上げ、昨年度までの体育科で育ててきた対話的な学びや「できた・わかった喜び」を味わい、進んでかかわりあう子の育成を継続して図ります。
- 一時間ごとの学習を大切に、本時のめあてを提示し、一時間の見通しをもつ。
また、何が分かったか、何に進んで取り組めたかなどの振り返りを行う。
- 主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図る。
- 学級間の連携を密にし、教材の共有、学年内交換授業など積極的に行う。
- 算数科の重点研究の1年目の年とし、授業実践を伴う研究を推進する。



○社会生活をしていく上で、ルール必要性やその意義を知り、自分と同じように相手を認める心と態度を育てます。(徳)

- ・道徳の教科化に伴い、さらなる充実と、人権教育の視点から日々の授業を見直し、たてわり活動を通して学級集団だけではなく集団の児童同士の豊かなかかわりを築くようにします。
- ・年間を通して栽培活動と音楽活動から小さな命に気づき、大切にしようとする態度を育てます。
- ・美しい言葉に触れ様々な自然を感じながら、俳句を作ることによって豊かな心を育てます。
- 互いのよさに気づき、認め合う、称えあう学習場面を意識して作っていくことにより、互いの頑張りを価値づけていくようにする。
- 個別級との交流、学年で、縦割り活動などで、いろいろな形の交流ができるようにする。
- 子ども同士のトラブルは、丁寧にかかわり、できるだけ早いうちに解決するようにする。
- いじめ防止対策委員会の定期的な開催で、いじめの未然防止、早期発見に努める。

○自分の友達の心身・生命を大切に作る気持ちを持ち、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。(体)

- ・保健委員会を中心に、学校保健委員会を運営していくことで、児童に健康への関心を高めさせるようにします。(今年度は、昨年度に引き続き「けがの防止」に取り組みます)
 - ・給食委員会を中心に、給食週間に生活を振り返ることで、食の大切さに気づかせるようにします。
 - ・体育委員会を中心に、1校1実践として、「縄跳び運動」を一年間呼びかけ、集会の企画をすることで、自らの健康・体力の向上を図るようにします。
- 重点研究体育科の取組を継承し、運動好きで、主体的に体力の向上、健康の保持増進を図り、生涯にわたって運動との豊かなかかわりができる基礎を養う。
- ロング昼休みも有効活用し、外で元気よく遊ぶよう声がけをしていく。
- 戸塚スポーツセンターとの連携で、リズムジャンプに取り組む。



○なかよし班活動などを充実させ、地域社会との連携を深めながら、ともに生きる姿勢を育てます。

(公)

- ・なかよし班活動をさらに充実させ、大正リーダーズ(高学年)を中心に、仲間づくりと心づくりを推進します。
 - ・保護者や地域の方の協力をいただきながら、子どもたちが住む大正のまちのよさに目を向け、積極的にまちに出た学習を展開します。(主に生活科や総合的な学習の時間)
 - ・まちの人々の努力や工夫に目を向け、積極的に地域の行事やイベントに参加するよう促していきます。
 - ・中学年のまちの学習、畑を活用した総合的な学習や栽培活動、地域にある老人ホームなどの高齢者などとも積極的にかかわり、福祉、環境教育に目を向けた取組を進めていきます。
- 教育活動への積極的な参加、応援を促し、地域とのつながりをより一層充実していくようにしていく。
- 学年で取り組む教育課題を総合的な学習の中で実現するために、内容を明確にする。(年度初めに)
- 学校運営協議会2年目として、放課後の学び教室の実現を図る準備をしていく。学校、家庭、地域が一体となった学校教育を推進していく。(年間4回開催)

○国際理解教室、英語教育、「横浜の時間」などを通して、様々な現代的な課題に対応できる力を

育てます。(開)

- ・国際理解教室、外国語活動などを中心に、様々な国の文化・習慣などに触れ、視野を広げていきます。
 - ・国際化、グローバル化などの社会の変化に柔軟に対応できるよう、様々な体験的活動を通して、表現力、判断力等を育てていきます。
- 社会で起きていること、今話題になっていることなどに積極的に目を向ける。
オリンピック・パラリンピック教育、新しい時代の到来、防災関係等
- 英語の時間数の増加等に対応し、授業の進め方を検討する。
- オリンピック・パラリンピック教育推進校(2年目)として、その活動を児童の委員会活動に広げるなど、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、オリンピック・パラリンピック教育を通じた機運醸成や人材育成を行います。スポーツへの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等多面的な教育的価値を推進する。